

地域福祉活動計画策定委員会 第9回委員会 会議録

1. 日時 平成26年11月4日(火)16:00-17:00
2. 場所 小諸市人権センター
3. 参加委員等(14名)
中村委員長、山本副委員長、小川委員、坂本委員、相良委員、竹中委員、田中委員、中山委員、西川委員、福島委員、牧野委員、松本委員、望月委員、小林アドバイザー
欠席委員等(3名)
三島委員、村上委員、上野谷相談役
4. 内容
 - (1) 開会
 - (2) ここまで振り返りと今回の目的の確認…事務局より説明。
 - (3) 報告事項
 - ① 分科会の開催状況…事務局より報告。
 - (4) 会議事項
 - ① 地域福祉活動計画案について
 - ・ 概要説明…事務局案を基に事務局より説明。
 - ・ 表紙とタイトル…事務局案を基に検討。
 - ・ 第1章…事務局案を基に検討。
 - ・ 第2章…事務局案を基に検討。
 - ・ 第3章…事務局案を基に検討。
 - ② パブリックコメントについて…事務局案の確認。
 - (5) その他
 - (6) 次回会議(第10回)…平成26年12月9日(火)15:00～ベルウィンこもろにて開催。
 - (7) 閉会

1. 開会

(委員長)この会議が始まり一年以上が経過した。地域福祉活動計画が形になりつつある。あと一息という感じなので、本日も活発な議論をお願いしたい。

2. ここまで振り返りと今回の目的の確認

(委員長)事務局より説明を。

(事務局)第1回目策定委員会で住民の意見を直接聞く必要性が確認され、その後の住民・団体意見交換会、住民アンケートにつながった。意見交換会と住民アンケートから見えてきた課題を4つの分類、9つの相談事例に整理した。第6回策定委員会以降は4つの分類に合わせた分科会を開催し、議論を重ねた。第8回策定委員会にて答申予定としていたが、より良い計画とすべく、答申予定を延期し、今回が第9回策定委員会となる。本日の議論を経て、次回策定委員会で答申としたい。

3. 報告事項

(委員長)事務局より報告事項を。

(事務局)第8回策定委員会以降の分科会開催状況について報告する。10月20日に第2分科会を追加開催し、「この5年間の目標」に数値目標を入れることとした。第1・第3・第4分科会は追加開催とはせず、第8回策定委員会の内容を事務局にて整理し、各委員が確認する方法をとった。

4. 会議事項

(1) 地域福祉活動計画案について

① 概要説明

(委員長)事前に配布されている資料を基に表紙・第1章・第2章・第3章の検討を行いたい。検討に先立ち、事務局より説明を。

(事務局)【事前配布資料の説明】

② 表紙とタイトル

(委員長)まずは表紙から議論したいので事務局より補足説明を。

(事務局)事務局では活動計画のタイトルおよびイメージキャラクターの市民公募を検討したが、活動計画自体の認知度が低いため、今回は社協内公募とし、市民公募については次期計画策定の際に再検討とした。

(委員長)タイトルを含めた表紙はいかがか。

(委員)わかりやすいタイトルだと思う。表紙のイラストも好感が持てる。

(委員)イメージキャラクターの二人が手をつないでいると『支え合い』を表現できる。

(委員)表紙全体から温かさを感じる。

(委員)イメージキャラクターの二人は親子をイメージしたのか。

(事務局)親子ではなく大人と子供をイメージした。小さい子から高齢者まで市民みんなの活動計画であることを意図している。

(委員)社協職員がデザインしたのか？

(事務局)社協内公募にて募集をかけ、作成した。

(委員)製本版の紙の質を知りたい。

(事務局)多くの方が手に取りやすいよう、紙の質等については製本の段階で印刷業者と相談する。

(委員)一般的な計画書に比べると白い部分が多いと感じる。

(副委員長)白は一般的に『博愛』を表すので、その意味も込めたい。

(委員)タイトル『小諸市地域福祉活動計画(第1次)』をひとまわり大きくしたらどうか。

(委員長)ここまでで出された意見が可能な限り反映できるよう事務局で調整をお願いしたい。

③ 第1章

(委員長)1章はいかがか。

(副委員長)P3(1)計画の趣旨には「ご近所同士の助け合いから公的サービスによる支援までを含む幅広い支え合い活動を地域福祉活動と呼ぶ」とある。この部分を大切にしたい。

(委員)中身は良いが、住民の手に取りやすい計画書にするために、「読んでみたい」と思わせるような工夫が欲しい。

(委員)囲みや太字など、メリハリをつけたらどうか。

(委員)P3(2)計画策定の背景の中に、現状や見通しが記されているが、グラフやイラストを活用したほうが見やすい。

(委員)高齢化率について説明文がある一方、年少人口についての説明文がないので追加を。

(委員長)初めて見る人が読みたいと思う工夫、関心を引くような工夫、計画の背景が見えるような図式化の工夫という意見が出された。事務局で対応可能か。

(事務局)意見をもとに再度修正し、資料とする。

④ 第2章

(委員長)第2章はいかがか。

(委員)紙面を占める枠の割合が多く、窮屈に感じる。

(委員)「凄い」「遣りがい」という表現は平仮名のほうが読みやすい。

(委員)前回の資料で「この5年間の目標」だった部分が今回は「この5年間の取り組み目標」と変更されている。各分科会での議論の上での変更だと思われるが、到達点ではなく取り組みの重要性が表現できている。

(委員)数値目標の設定に関して各分科会で議論を重ねた結果、数値目標のある部分と無い部分が生じているが、統一すべきか。

(委員)各分科会での結論を尊重すればよいのではないか。

(委員)数値目標については分科会で悩んだ。具体的な数値目標があるとわかりやすいと思われるが、無理に数値目標を設定する必要はないという結論になった。

(委員長)ここまでの議論を踏まえ、事務局の意見を聞きたい。

(事務局)従来の表現である「この5年間の目標」は5年後の到達点を示す意味合いが強い。活動計画は住民と社協が共に取り組んでいくものであり、到達点ではなくそこまでの経過を大切にしたいという意見が分科会であったため、「この5年間の取り組み目標」とした。

(委員長)それぞれの分科会の思いがあって、数字を入れたところと入れない所があると思うが、各分科会の決定を尊重するのか、数字を入れるまたは入れないで統一するか、いかがか。

(委員)分科会の意見を尊重すべきではないか。そもそも興味のある事例から読み進めてもらう計画書であり、統一する必要性を感じない。

(委員)活動計画は策定委員会で取りまとめているが主体は住民。この活動計画は住民・団体意見交換会や住民アンケートの結果を整理して作り上げてきた。住民の意見は目標の言葉の中に反映されているはず。数値目標が入らない相談事例は、そのままで良いのではないか。

(委員)数値目標が必要な相談事例には数値目標を、不要な相談事例は言葉での目標という形であっても住民の取り組むべき方向は反映できる。

(委員)無理に数値目標を入れても、住民にとっては意識できない。

(委員長)ここまでの議論を踏まえ、第2章は基本的に事務局案のままとしたいがいかがか？

(委員)異議なし。

⑤ 第3章

(委員長)第3章についていかがか。策定委員や策定経過を写真やイラストを使って紹介することで、住民に親近感を抱いてもらいたいという意図を込めた。

(副委員長)各委員からのメッセージを掲載するようだが、何を発信するのか。

- (委員長)「この計画はこういう思いで作りました」という委員から住民に向けたメッセージを顔写真付きで掲載したい。
- (委員)各委員からの個別メッセージではなく、委員長からのメッセージでどうか。
- (委員)委員長のメッセージが委員の総意という形で良い。
- (委員)写真についても、委員長のみでどうか。
- (委員)自分たちの思いを伝える手段になるのでメッセージを発信すべき。
- (委員)写真やメッセージの掲載の有無は、個々の委員の価値観や思いではなく、活動計画書を身近に感じていただく手段として検討すべき。私は身近に感じていただくための有効な手段だと思う。
- (委員)すばらしい計画を作っても、手に取ってもらわなければ意味がない。手に取るきっかけとなるのであれば、写真掲載に賛成する。
- (委員)社協情報こもろに策定委員名簿が掲載された際に声を掛けられた。知り合いの写真やメッセージが掲載されていることは、身近に感じていただくためには良い。
- (委員)写真はスペースをとってしまう。一言メッセージのみでどうか。
- (委員)メッセージの掲載は反対。誰に向けてどの立場で何を書くのか委員の中での意思統一が難しい。写真と名簿でどうか。
- (委員)集合写真を掲載したらどうか。
- (委員)事務局を含めた集合写真が良い。
- (委員)様々な思いがある中、意思統一は難しいので、委員長に一任したい。
- (委員長)様々な思いがあることが確認できた。その上で、今回は手に取りやすさを重視したい。メッセージが掲載される委員とされない委員がいるのは不自然な印象を与えるので、委員長メッセージとする。作成者の顔と名前を発信するために委員名簿と集合写真を掲載する。いかがが。
- (委員)異議なし。

(2) パブリックコメントについて

- (委員長)パブリックコメントについて事務局より説明を。
- (事務局)広く意見を募るため、社協ホームページにてパブリックコメントを募集する。期間は11月7日から11月21日としたい。
- (委員長)寄せられた意見の取り扱いについては委員長判断ということで良いか。
- (委員)異議なし。

5. その他

- (委員長)今回の議論を踏まえ、事務局より今後の予定を。
- (事務局)本日の議論を踏まえた修正計画案を11月14日までに各委員に送付。内容を確認の上、11月21日までに意見をいただきたい。委員から頂いた意見とパブリックコメントを踏まえた最終素案を次回策定委員会に提示したい。
- (委員長)事務局提案についていかがが。
- (委員)異議なし。

6. 次回会議

- (委員長)事務局案の提示を。
- (事務局)第10回策定委員会を12月16日(火)16時00分からベルウィンこもろにて開催したい。集合写真を委員会終了後に撮影したい。
- (委員長)異議なければ事務局案のとおり開催としたいがいかがが。
- (委員)異議なし。
- (委員長)予定していた議事は以上。閉会とする。